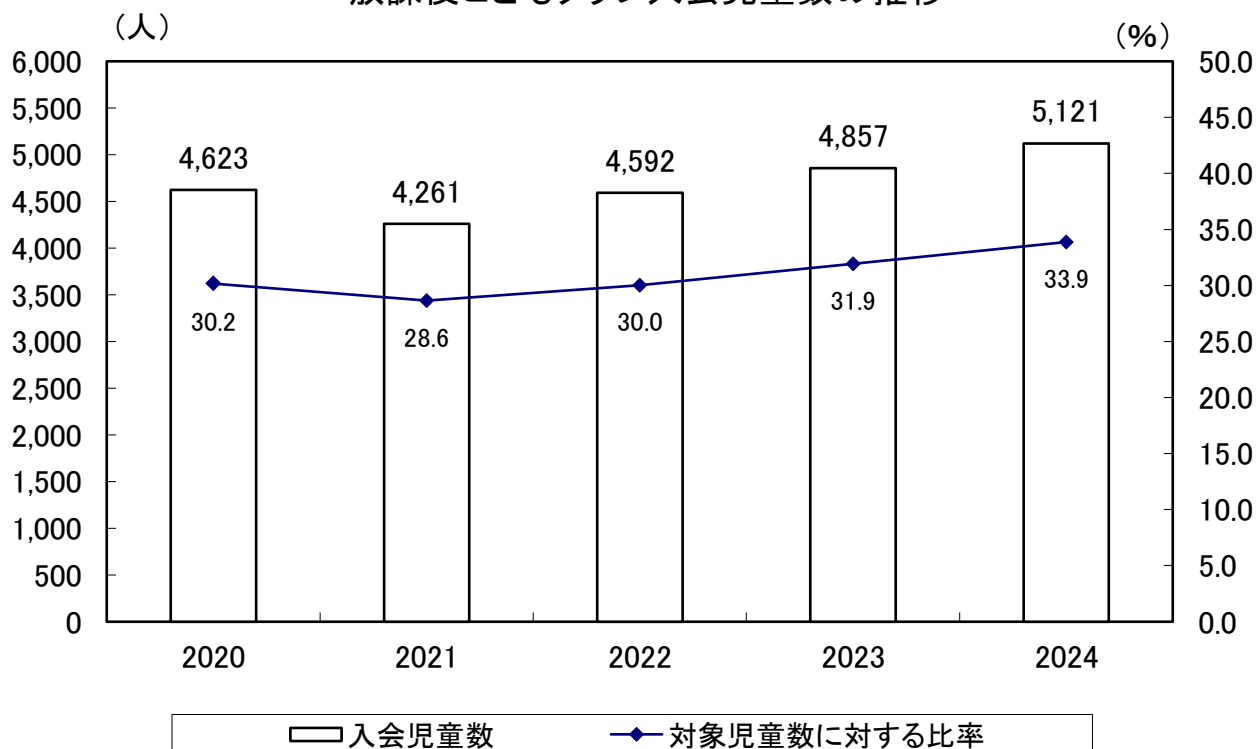


Ⅶ. 学校を拠点とした放課後の子どもの居場所 づくりの充実（新・放課後子ども総合プラン★）

国においては、新・放課後子ども総合プランが令和５年度（２０２３年度）末で完了し、新たに「放課後児童対策パッケージ」が策定され、各自治体に対して放課後児童対策の市町村計画を策定することが要請されました。豊中市では放課後児童対策に関する計画を策定し、引き続き同パッケージに基づく対策に取り組んでいます。

（１）放課後こどもクラブ及び地域子ども教室の運営

放課後こどもクラブ入会児童数の推移



資料：豊中市教育委員会学び育ち支援課（各年５月１日現在）

とよなか地域子ども教室（※１）の状況

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
個所数(力所)	39	38	39	34	34
延べ参加者数(総数:人)	140,003	17,392	39,387	44,843	45,700
延べ参加者数(子ども:人)	11,122	14,005	31,515	36,300	36,678
延べ参加者数(大人:人)	2,881	3,387	7,872	8,543	9,022

資料：豊中市教育委員会事務局学び育ち支援課調べ

※１ 地域子ども教室：学校や公共施設を活用して、安心・安全な居場所（活動拠点）を設け、子どもたちが放課後や週末等に地域の大人と交流しながらスポーツや文化活動など様々な体験活動を行っている。

※ 平成 16 年度（2004 年度）から平成 18 年度（2006 年度）は国委託事業。平成 19 年度（2007 年度）からは国・府の補助事業、平成 24 年度（2012 年度）からは国の補助事業となり、小学校を中心に事業展開を図るなど制度変更あり。

★は資料編「用語の解説」をご覧ください

(2)両事業の一体型運営の取組み

地域子ども教室につきましては、各小学校区において、地域のボランティアにより安全・安心な居場所づくりとして、学習やスポーツ、文化活動など地域の特性を活かした取組みが行われています。活動を通じて子どもたちが地域の大人たちと交流し、地域でのつながりづくりの機会となりました。

学校を拠点とした地域社会全体で子どもたちの学びや育ちを支える環境づくりを推進するために、地域子ども教室と関連する、放課後こどもクラブ事業、放課後等の児童の居場所づくり事業の連携、効果的な組み合わせを検討することにより、子どもたちの居場所の充実を進めます。

(3)放課後等の児童の居場所づくり事業

すべての就学児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、各校に見守り員を配置し、授業終了後の校庭開放事業を実施しました。令和6年度（2024年度）は、令和5年度（2023年度）の25校から市内全小学校・義務教育学校へと実施校数を拡大しました。利用者やその保護者からは、「見守り員がいるので安心できる」「放課後子どもクラブ対象でない5、6年生も利用できるのがよい」「校庭のような広いスペースが近隣にないのでよい」「交友関係が広がる機会になる」といった声をいただいています。

■放課後等の児童の居場所づくり事業実施校（小学校）

2016 年度	大池
2017 年度	大池、野畑、西丘
2018 年度	大池、野畑、西丘、寺内
2019 年度	大池、野畑、西丘、寺内
2020 年度	大池、野畑、西丘、寺内、豊島西、桜井谷、東丘、高川、刀根山、新田南
2021 年度	大池、野畑、西丘、寺内、豊島西、桜井谷、東丘、高川、刀根山、新田南
2022 年度	大池、野畑、西丘、寺内、豊島西、桜井谷、東丘、高川、刀根山、新田南 参加人数：延べ77,161人
2023 年度	大池、野畑、西丘、寺内、豊島西、桜井谷、東丘、高川、刀根山、新田南、 克明、桜塚、熊野田、豊南、上野、北丘、東豊中、南丘、豊島北、泉丘、少路、 箕輪、桜井谷東、東泉丘、北緑丘 参加人数：延べ264,578人
2024 年度	全小学校・義務教育学校 参加人数：延べ372,948人